

## 優秀賞

A1-1 チームは、与えられた業務システムの現状を改善するシステム再設計課題に対し、保守性の高い高品質なマイクロサービスアーキテクチャ設計を完成させました。ドメイン駆動設計に基づくマイクロサービス設計に取り組まれるなかでも、画面モックを用いたユビキタス言語の選定、アクター視点からのサービス分割、オニオンアーキテクチャに基づくマイクロサービスアーキテクチャ設計、データベース配置やサービス連携パターン選択・適用など、先進的な設計手法を積極的に取り入れることで高品質な設計を実現しました。特に、A11 チームは設計のみにとどまらず、限られた演習期間の中でマイクロサービスの実装まで意欲的に取り組みました。マイクロサービスアーキテクチャの高い柔軟性を定性的な議論だけでなくデモを用いて具体的に示し、さらに実装結果を踏まえてマイクロサービスアーキテクチャの効果、オーバヘッドを実装時の観点まで踏み込んで議論を行いました。実装まで体験したからこそ得られた実践的なノウハウがよくまとめられております。

以上を高く評価して優秀賞を与えることとします。

国立情報学研究所 GRACE センター長・特任教授

本位田真一